

夏休みラジオ体操&通学路ウォーキング

8月22～24日 五小校庭と通学路

協力:平井孝子先生、交通対、PTA役員、オヤジの会、中学生ボランティア

今年も2学期が始まる直前の8/22～8/24の3日間、ラジオ体操&通学路ウォーキングを開催しました。

お友達同士で声を掛け合って参加したり、親子と一緒に通学路を確認しながら参加したり、2学期に向けての気持ちと生活リズムを整えることができたと思います。(内山)



五小ラジオ体操会 協力

毎月第2水曜日(7:40～7:50) 五小校庭
協同:五小オヤジの会 (雨天時は体育館)

昨年からはまった朝の校庭開放時間を活用した五小ラジオ体操会に、青少対も引き続き連携し協力しています。月に1回の開催ですが、スタンプカードを押してもらえることを楽しみにしている児童も増えました。

朝開放のラジオ体操会で、気持ちよく一日をスタートさせましょう! ご参加をお待ちしています!



NPJ法人全国ラジオ体操連盟 理事 平井孝子先生

五小卒業を祝う会

「五小寄席」2026年2月25日(水) 五小体育館



卒業を控えた6年生のために落語家真打春風亭柳枝さんが五小寄席に駆けつけてくれました。

最初に仕草の違いや扇子と手拭いが様々なものに見える落語の楽しみ方を教えてもらいました。蕎麦のすずり方のコツを聞いてみんな頑張って挑戦していました。

演目「牛はめ」は、柳枝さんが演じ分ける仕草や言葉にどんどん引き込まれ、何度も笑いが湧きおこっていました!

「中学生になると、忙しくなるけど優しい気持ちを大切に頑張ってください」とエールも頂きました。(石井)

三中卒業を祝う会

～地域とつながる～「和太鼓体験」

2026年3月7日(土) 三中体育館
高山地区・五地区合同主催、協力:井の頭鼓響(こびき)

今年も高山地区青少対との共催で「井の頭鼓響」の皆さんをお招きし、和太鼓演奏会と体験会を開催しました。演奏が始まると、空気を震わせ体中を突き抜けるような太鼓の響きに、会場全体が圧倒されました。体験会では、クラスごとに心一つにしてバチを振るいました。三年間を共に歩んできた仲間と音を重ねた一打一打は、きっと忘れられない記憶となったことでしょう。卒業という大きな節目を迎え、それぞれの道を歩み始める皆さん。新しい世界での活躍を心から応援するとともに、地域とのあたたかな絆を、いつまでも大切に持ち続けてほしいと願っています。(徳田)



※写真は昨年の様子です

【五地区青少対委員&サポーター募集!】

五地区青少対は五小地区の子供が安心して安全に楽しく過ごせるよう、このような活動をしています。是非一緒に活動してみませんか。入会のご希望を随時受け付けております。ご連絡は青少対メールか、入会フォームからどうぞ。紙面のご感想も是非お寄せください。

▼メール
mitaka5seishoutai@gmail.com



▼入会フォーム



▼五地区青少対のすべてがわかるウェブ記事



第五地区

青少対だより

第49号 2026年3月13日発行

青少年対策委員会(青少対)は、地域の青少年の健やかで心豊かな成長のために、様々な事業に取り組んでいます。

発行 三鷹市青少年対策第五地区委員会
発行責任者 岡本 ひろみ

「地域とともに育む子どもの未来—青少対への感謝と皆様へのお願い」

三鷹の森学園三鷹市立第五小学校
校長 中島 亮子



令和7年度、この1年間も青少年対策委員会の皆様本当にありがとうございました。

毎年度、発行いただいている「みんなの約束」の冊子。青少対の皆様が五小の子どもたちを大切に思ってくださっているその思いが詰まった素晴らしい冊子です。パトロール、ラジオ体操等、子どもたちのために実際に動いてくださっていることもたくさんありました。そして、年度末に向け、育てていただいた様(こうぞ)を使っての紙漉き、卒業を祝う会の落語など卒業生にとっても意味のある経験も設定いただいております。心より感謝申し上げます。

子どもたちと共に育てる「共育」、協力して育てる「協育」の2つこの実現のために、青少対の存在はとても大きいです。どうぞ、保護者の皆様にも今後青少対の取組にご参加いただいたり、青少対のメンバーに入っていたりしていただきたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

「五小和紙」づくり活動

指導:和紙研究家デンホード・ポールさん

和紙の原料である楮(コウソ)の木を、令和6年秋に校舎の裏側に当時5年生だった有志と植え、今年度秋に初めて収穫をしました。収穫時には1年生も見学。この1年生がまた卒業の時に五小の敷地で育った楮で紙すき体験ができると思うと、始めの一步の重みを感じます。(岡本)

P.3で詳しく解説していますので、中面も是非ご覧ください。

P.3へ続く



6年生「紙すき体験」



6年生には卒業のプレゼントとして「紙すきの体験」と「自分がかいた和紙」をお渡しします。この日は青少対の担当チーム総出で、ポールさんの奥様、三鷹の森学園サポーターにも協力いただき、紙すき体験を賑やかに開催。楮の繊維を「ネリ」(トコロアオイの根の粘液)と混ぜた紙料は、手を入れると優しい肌あたりで、裏打(すけた)の上で薄くきれいにのびました。5年生の時に有志で植えた楮が「和紙」になるまでを経験してもらってよかったです。(東)

2026年2月24日(火) 五小家庭科室
協力:三鷹の森学園サポーター



井の頭住民協議会図書部に委員派遣/役員会5回 委員会5回

五地区青少対活動一覧

私たち、第五地区青少対は五小児童をはじめ地域の子どものためにできること、そのために大人も学ぶことを目標に、今年度は以下のような活動をしました。

五地区青少対の【基本活動】

- 委員交流研修会
- 地域パトロール(前期・後期)
- 「みんなの約束」リーフレット作成
- 夏休みラジオ体操&通学路ウォーキング
- 防災活動
- 「五小和紙」づくり活動
- 五小卒業を祝う会「五小寄席」
- 三中卒業を祝う会「和太鼓体験」(高山地区青少対共催)
- 「青少対だより」発行

2025年度【その他の活動】

五小ラジオ体操会協力

月別活動一覧

- 5月 総会(5/12)
- 6月 委員交流研修会(6/26)→P.2
- 7月 前期地域パトロール(7/4)→P.2
「みんなの約束」リーフレット作成・配布→P.2
- 8月 夏休みラジオ体操&通学路ウォーキング(8/22～24)→P.4
- 11月 井の頭地区防災訓練協力(11/2)→P.3
後期地域パトロール(11/20)→P.2
- 2月 五小防災講座(2/19)→P.3
6年生「紙すき体験」(2/24)→P.1
五小卒業を祝う会「五小寄席」(2/25)→P.4
- 3月 三中卒業を祝う会(高山地区青少対共催)(3/7)→P.4
青少対だより発行/会計監査

井の頭住民協議会図書部に委員派遣/役員会5回 委員会5回

地域パトロール

前期:7月4日(金) 五小校区
後期:11月20日(木) 玉川上水沿い遊歩道

協力:三鷹警察、市役所安全安心課、学童保育所、交通対、町会、PTA役員

青少対は前期と後期に地域パトロールをおこなっています。前期は、保護者を対象に井の頭地区をグループ分けして警察署・市役所のご協力の元、危険箇所の確認をしています。

後期は、新月の日に「真っ暗な5時の道」と題し、お巡りさんや五小保護者・児童、地域の方々と玉川上水を歩き、暗闇体験をしたり防犯について学んだりしながら、子供達をとりまく危険について情報交換をしています。(高谷)

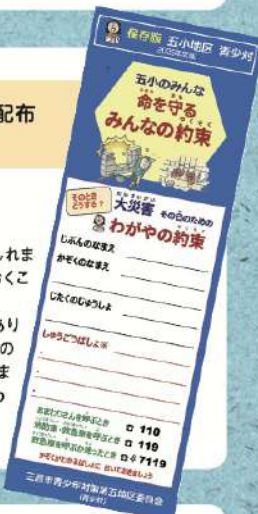


2025年度版「命を守る みんなの約束」

五小児童に配布
(夏休み前)



大災害に備えて呼びかけたのは、[家族会議をしよう]です。災害は子どもが一人にいる時に起きるかもしれません。集合場所や家族の約束事を確認しておくことが第一歩です。また、五小で大切にしている4つの言葉「ありがとう」「ごめんなさい」「いいね」「たすけて」この素敵な言葉たちを、山登りのイラストで表現しました。いろいろな場面で、みんなでこの言葉を交わせたいですね。(山田)



委員交流研修会

6月26日(木)

●JICA 地球ひろば
●東京ジャーミイ

JICAでは、世界各地の現状の展示見学をしたあと、ウガンダに2年間体育教師として派遣された方のお話を聞き「私たちは何が出来るのか」を問われているように感じました。

東京ジャーミイでは宗教や文化の違いで子供の世界でもいじめが生まれていることを知り「他者を知り、他者への理解を持つことにより、自分の立場を見つめ直す」ことの大切さを実感しました。(田中)



▼JICA地球ひろば
<https://www.jica.go.jp/domestic/hiroba/index.html>



▼東京ジャーミイ
<https://tokyocamii.org/ja/>

防災活動

11月2日(日)

協力:住協トレイタスクフォース(災害トレイコーナー)
コーナー:「大声大会」「避難所アンケート」「災害トイレ」

井の頭地区防災訓練(五小会場)協力

井の頭地区防災訓練にて「大声大会」を実施。火事に弱い地域性を考慮し、早期発見と初期消火をできるように周りの人に知らせるために、大声を出す体験をしてもらいました。「日常で出ることがないから、いい機会になった」「不審者対策にもなる」などの声が聞かれました。(先着50名に災害時用ホイッスル配布)

また、避難所アンケートを行い、避難所の運営は避難してきた人で担うことを念頭に、どのようなことを助けてほしいか、どのようなことなら役に立てるか考えてもらう機会になり、啓発もできました。災害時のトイレについては五小PTA備蓄の使用期限が切れた携帯トイレを活用して参加者に実物を体験してもらいました。



五小防災講座

2026年2月19日(木) 講師:篠原秀和さん 協力:五小PTA



防災講座では、五小が避難所になったら、どのようになるかを避難所簡易マニュアルを見ながら、避難所運営委員の篠原さんにお話しいただき、実際に起きたら…と想像することができました。オヤジキャンプで子どもに一番人気のアルファ米「わかめごはん」を実際で作って試食しました。(大島)



P.1から続く

「楮(コウジ)が五小和紙になるまで」

収穫しからの楮は和紙になるまでに多くの工程があります。(右側を参照)その一つ一つに意味があり人の手を経て一枚の和紙になります。

中島校長先生が以前にお勤めになられた世田谷区立山崎小学校で長年取り組んでいる「和紙づくり」を見学させて頂き、その際に買った「枝」を挿し木で育てた苗木もこの五小楮のなかに入っています。こんなところにも和紙が取り持つご縁を感じます。この和紙の取り組みは、学校のご協力と和紙研究家のボールさんの教えや多大なるご尽力のおかげで実現しました。(村井)

「和紙ができるまでの工程」

- ① 刈り取る 楮の株元から刈り取り、長さをそろえて束ねる
- ② 蒸す 束ねた楮を鍋に縦に入れて蒸す
- ③ 皮をはぐ 熱いうちに皮をはぐ
- ④ けずる 皮の外側の部分(黒皮や甘皮)をけずり白皮のみを残す
- ⑤ 煮る 白皮を2-3時間かけて煮る
- ⑥ ちりとちり 煮た白皮からキレイな繊維以外のものをすべて取り除く
- ⑦ 叩く キレイにした白皮を叩いて繊維1本1本にする
- ⑧ すく 楮と水とネリを混ぜて紙をすく
- ⑨ 水を切る すいた紙を圧縮して水を切る
- ⑩ 乾燥 1枚1枚乾燥させる



【五地区青少対委員&サポーター募集!】

五地区青少対は五小地区の子供が安心して安全に楽しく過ごせるよう、このような活動をしています。是非一緒に活動してみませんか。入会のご希望を随時受け付けております。ご連絡は青少対メールか、入会フォームからどうぞ。紙面のご感想も是非お寄せください。

▼メール
miruko.5aish-hourai@gmail.com



▼入会フォーム



▼五地区青少対のすべてがわかるウェブ記事

